

令和4年度 第7回

鞍手町立小学校の統合に向けたあり方検討委員会

令和5年1月26日
鞍手町中央公民館 第1研修室

1. 開会

2. 新委員 委嘱状交付

3. 副会長 選出

4. 議事

- (1) 統合小学校 建設地の決定に係わる進捗状況について
- (2) 鞍手町立小学校統合基本計画 配置図（案）について
- (3) 鞍手町立小学校統合基本計画 必要諸室リスト（案）について
- (4) 鞍手町立小学校統合基本計画 計画コンセプト実現例 について

5. その他

6. 閉会

配布資料

- 【資料1】鞍手町立小学校統合基本計画 配置図（案）
- 【資料2】鞍手町立小学校統合基本計画 必要諸室リスト（案）
- 【資料3】鞍手町立小学校統合基本計画 計画コンセプト実現例
- 【資料4】委員からいただいた質問・要望・意見等

- 住所
鞍手郡鞍手町中山2213番地1
 - 敷地面積
約 36,100 m²
 - 用途地域
第二種低層住居専用地域
 - 高さ制限
・高さの限度10m以下
・北側斜線制限
 - 日影規制
4時間・2.5時間/1.5m
 - 立地適正化計画
都市機能誘導区域
 - がけ地規制
高さが該当
 - 指定建蔽率/容積率
50/80%
 - 建築面積
約5500m²程度
 - 建蔽率
約15~20%程度
 - 延面積
約11500m²程度
 - 容積率
約30~35%程度
 - 駐車場
スクールバス：4台程度
普通車：100台程度
- ※GL±0=標高11.1mとする

- <凡例>
- : 敷地境界線
 - : がけ地規制ライン
 - : 児童・教職員動線
 - : 学童動線
 - : 車両動線(職員・給食車両)
 - △ : 構内出入口
 - GL±0 : 現況レベル
 - GL±0 : 計画想定レベル



必要諸室リスト（案）

区分	必要諸室リスト					
	部門	番号	諸室名	部屋数	備考	
a 教室・管理	① 教室	01	普通教室	24	7.2m×9.9m教室	
		02a	特別支援教室	8	今後の児童数増を見込む	
		02b	カームダウン室	2		
		02c	脱衣室	1		
		03	少人数教室	6	各学年1か所程度を確保	
		①教室部門計				2,300
		② 特別教室	01	理科室	2	カリキュラム、理科専科を考慮すると2室必要
	02		音楽室	1		
	03		図工室	1		
	04		家庭科室	1		
	05		図書室	1		
	②特別教室部門計				1,020	
	③ 多目的	01	くらてホール	1	階段型の発表スペース	
		02	多目的スペース	6	教室前の多目的スペース	
		03	ラーニングスペース	4	各階1か所設置	
		04	生活科教室兼多目的室	1	生活科教室や多目的利用できる室として設置	
		05	くらてギャラリー	1	統合前の小学校の展示スペース	
		06	情報コーナー	1	掲示物、作品展示コーナー	
		③多目的部門計				1,010
	④ 管理	01	職員室	1		
		02	校長室	1		
		03	事務室	1		
		04	給湯室	1	給湯以外に先生のリフレッシュスペースとして広さを確保	
		05	保健室	1		
		06	備蓄庫	1		
		07	放送室	1		
		08	会議室	1	教室2室分の広さを確保し移動間仕切り等で分割化	
		09	児童会議室	1	児童会議室が必要	
		10	教材室1	7	特別支援学級用に1室を追加	
		11	教材室2	1	各学年で共用する教材のための部屋が必要	
		12	保管庫	7		
		13	相談室	7	各学年の側に配置	
		14	機械室	1	サーバー、プリンタ等を配置	
		15	校務員室	1		
		16	職員更衣室	2		
		18	PTA室	1		
		19	倉庫	1		
		④管理部門計				1,210
	⑤ 共用	01	昇降口	1		
		02	男子便所、女子便所、多目的便所	—	適宜設置	
		03	階段	—	適宜設置	
		04	EV	1	1か所設置	
		05	廊下	—	適宜設置	
		06	ホール	—	適宜設置	
		07	機械室	—	適宜設置	
		08	手洗いスペース	—	適宜設置	
		⑤共用部門計				3,390
	教室・管理合計				8,930	
	b 体育館	01	屋内運動場	1		
		02	ステージ	1		
		03	器具庫	—	適宜設置	
		04	更衣室	—	適宜設置	
		体育館合計				1,160

区分	必要諸室リスト				
	部門	番号	諸室名	部屋数	備考
b 体育館	01		屋内運動場	1	
	02		ステージ	1	
	03		器具庫	—	適宜設置
	04		更衣室	—	適宜設置
	体育館合計				1,160
c プール	-		プール	1	8レーン+プールサイド、面積には不算入
	01		更衣室	2	
	02		器具庫	—	適宜設置
	プール合計				60
d 給食調理場	01		調理室	1	
	02		配膳室	1	
	03		更衣室	—	適宜設置
	04		休憩室	—	適宜設置
	05		倉庫	—	適宜設置
	06		男子便所、女子便所	—	適宜設置
	07		廊下	—	適宜設置
	給食調理場合計				590
e 放課後児童クラブ	01		児童クラブ	4	静養スペースを室内に設置
	02		倉庫	—	適宜設置
	03		男子便所、女子便所	—	適宜設置
	05		廊下	—	適宜設置
	06		手洗いスペース	—	適宜設置
	放課後児童クラブ合計				550
校舎床面積計				11,290	

※ 各室面積は現時点での数値であり、計画によって今後変動します。

計画コンセプトの実現例

コンセプト		校舎での実現例・イメージ		備考	
01	確かな学力の育成 子どもの自発的な学びに応え、多様な学習活動が展開できる学校	「調べる」・「実践する」・「表現する」・「振り返る」の循環づくり	 教室と連携したアクティブスペース	 開かれた図書館	
	自ら調べる・考える・表現することを実践する、未来を創る人材を育成するため、自発的な学びに応える学習環境を整備します。	<提案例> <ul style="list-style-type: none"> ●アクティブラーニングスペースや教室と連携した多目的スペースの設置 ●調べもの学習を自発的に行いやすい開かれた図書館の設置 ●児童の発表、講師による講話などが開催できるホールや階段教室の設置 ●ICTを活用した施設整備の充実化 			
02	豊かな心の育成 互いを尊重して支え合い、自ら夢を描ける学校	豊かな交流をはぐくむ場所づくり	 交流をうながすスペースづくり	 デンの設置	
	統合により得られる多くの友だちと交流できる賑やかな空間と、一人や少人数で静かに過ごせる空間をバランスよく整備することで、お互いを尊重し支え合える人材を育成します。また、将来の夢を描ける人材を育成するため、子どもたちの好奇心をかきたてるような環境を整備します。	<提案例> <ul style="list-style-type: none"> ●子どもたちの交流を促すスペースづくり ●デンなど子どもたちの居場所づくり ●子どもたちが何気なく顔を合わせやすい共用空間づくり 			
03	健やかな体の育成 休み時間に体を動かしたくなる学校	学びだけでなく遊びにも配慮した校舎づくり	 低学年が安心して遊べる中庭	 遊具の設置	
	運動場や中庭などで、多くの友だちと積極的に体を動かしたくなるような環境を整備します	<提案例> <ul style="list-style-type: none"> ●充実した遊具の設置 ●安心安全な低学年用運動スペースの設置 ●運動場の芝生化、人工芝化 			
04	学校指導体制の整備 多様な関係者が参画しやすい学校	地域との交流を促す機能の導入	 ボランティアが活動できる場所づく	 菜園の設置	
	地域の方やボランティア、働く大人の方々など、多様な人たちが参画し、教職員と共に子どもたちの成長を支えていける環境を整備します。	<ul style="list-style-type: none"> ●集会機能をあわせもつランチルームの設置 ●地域ボランティア活動を想定した会議室や控室の設置 ●地域の歴史や伝統を学ぶ展示スペースや活動室の設置 ●地域の方々と触れ合うことのできる菜園の設置 			
05	特別支援教育の推進 個の特性へ配慮し、共に学べる学校	多様性を尊重できる教育環境、設備の充実化	 多目的トイレなど衛生設備の充実化	 階段の蹴上の調整や2段手摺の設置	
	特別支援教室を配置した上で、普通教室等へも個の特性への配慮を取り入れ、共に学べる環境を整備します。	<ul style="list-style-type: none"> ●多目的トイレや校舎内に段差のない計画 ●インクルーシブ教育に対応した特別支援教室の配置 			
06	公共施設としての学校 社会の一員としての学校	避難所としての役割の整理と校舎のZEB化、木造化、木質化の推進	 飲用水に転用できるプールのシステム <small>※出典：文部科学省</small>	 校舎の木質化	
	避難所として災害発生後も稼働できる校舎・体育館とし、通常時は社会体育施設や地域利用などでも活用しやすい環境を整備します。また、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す鞍手町として、地球環境に配慮した施設を整備します。	<ul style="list-style-type: none"> ●避難所として機能する設備システムの構築(太陽光発電、自家発電機など) ●避難時の機能転用を想定したゾーニング計画 ●ZEBready取得を目指した環境にやさしい校舎づくり ●子どもたちが生活する環境によりそう校舎の木造化 ●環境教育を促す仕掛けづくり(発電状況の明示、日射や風を感じる仕掛け) 			

委員の皆様からいただいた質問・要望・意見等

1. 意見

「(計画) コンセプト3 健やかな体の育成」とありました。

子どもたちは、放課後、学校のグラウンドに集まったり、走りまわったり、体を動かして遊んでいます。

統合によって、現在の学校が廃校になると、遊ぶ場所と機会が減ってしまうのではないかと思います。放課後に子どもたちが遊んだり、一緒に活動できる環境や機会があると良いなと思います。

2. 質問

委員として参加させて頂いていますが、娘が6年生なので、3月には小学校を卒業します。この検討委員会は、新しい学校について、どの時点まで運営されるのですか？

来年度は、新PTA会長に引き継ぐことになりますか？